

平成 2 7 年度

第 3 2 回 八代地域審議会 会議録

平成 2 7 年 1 1 月 2 4 日作成

八代地域審議会会長 徳田 武治



(署名又は記名押印)

第 3 2 回 八代地域審議会会議録

開催日時	平成 2 7 年 1 0 月 2 6 日 (月) 1 3 : 3 0 ~ 1 4 : 3 0
開催場所	八代市立図書館 大集会室

■ 出席委員

会 長	徳田 武治	委 員	西濱 昭則	委 員	大林 凌
副会長	堀田 陽子	委 員	寺田 公子	委 員	平田 光子
委員	古閑 啓子	委 員	濱田 律子		

■ 欠席委員

委員	濱 大八郎	委員	守田 邦宏	委員	宮本 喜美代
委 員	徳本 喜一郎				

■ 事務局出席者

役 職	氏 名	役 職	氏 名
企画振興部長	福永 知規	企画政策課長	宮川 武晴
企画振興部次長	丸山 平之	企画政策課主幹兼課長補佐	田中 孝
企画振興部次長	増住 眞也	企画政策課企画係長	草西 亮介
企画振興部政策調整審議員	稲本 俊一	企画政策課企画係主任	松永 智秋

■ 公開状況

公 開

■ その他出席

な し

■ 傍聴者

一般傍聴者		0 名	報道機関		0 名
-------	--	-----	------	--	-----

■ 協議事項

■ 審議事項

(1) 新たな機関の設置について

【資料 1、2】

■ 所管課

企画振興部 企画政策課 企画係 (内線 2 2 6 2、2 2 6 3)

■ 議事録

1. 開会

<事務局>

本日は、ご多忙のところご出席いただきまして誠にありがとうございます。

只今より、第 3 2 回八代地域審議会を始めさせていただきます。

本日は 12 名の委員のうち 9 名のご出席となり、委員の 2 分の 1 以上のご出席を得ておりますので、地域審議会の設置に関する事項の第 7 条第 3 項により、本日の審議会が成立しますことをまずもって報告させていただきます。

2. 挨拶

～企画振興部長 挨拶～

～会長 挨拶～

<事務局>

ありがとうございました。

それでは、議事に入りたいと思いますが、地域審議会の設置に関する事項の第 7 条第 4 項において「審議会の議長は、会長が務めるものとする。」と規定しておりますので、これから先は、会長に会議を進めて頂きたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

3. 議事

■ 審議事項

(1) 新たな機関の設置について

<事務局（企画政策課）説明要旨>

- ・ 前回会議において、地域審議会の廃止後においても、住民の声がきめ細やかに反映させることができるよう「住民自治組織の活用」を素案として提示した。
- ・ 素案に対しては、一部で賛同があるものの、①役割・位置付け、②年齢層や男女の構成、③組織の熟度の点から、全体として慎重な意見が多くあった。
- ・ 各地域審議会での意見を踏まえ、役割・位置付けを整理したうえで、修正案として「新たな機関の設置」を再提案する。

- ・設置する機関は、広域的な視点を持ち、地域及び市全域の施策等を協議するものとし、設置数は市全体で１組織とする。
- ・委員は、地域、年齢及び男女のバランスを考慮し、６地域から各５名（うち公募１名）とする。
- ・必要に応じて、特定事項について調査・研究するため分科会を設置することができるものとする。

《質疑・応答・意見》

<委員>

委員について、各地域の選出とは旧市町村の区域でしょうか。また、３０名で１つの会議でしょうか。

<事務局>

旧市町村の６地域から各５名の委員を選出し、計３０名で１つの機関です。

<委員>

委員の選出については、地域（を基盤とする団体）から選出するだけでなく、商工団体、農業団体等各種団体からも選出する必要があるのではないのでしょうか。

<委員>

委員の選出については、地域が選出するのではなく、市で選考がされるものと認識しています。

<事務局>

委員の選出については、各地域４名の枠組みの中で、どういった方が相応しいのかを検討しまして、打診をしたいと思います。

また、公募委員については、各地域１名を定員として募集したいと考えております。

<委員>

委員数については、各地域５名ずつということですが、人口比率に応じた設定も考えてみてはどうでしょうか。

<委員>

人口については、泉地域より鏡地域は多く、八代地域は更に多いですので、人口比率という考え方が必要だと思います。

<事務局>

地域審議会につきましては、特に周辺部の声が届かなくなるのではないかという懸念を払拭することを目的に創設されました。

人口比により委員数を設定するという考え方につきましては、その趣旨は十分理解しているところでありますが、新たな機関については、住民の意見を施策に反映させるという目的を持つ、地域審議会を発展させた機関であることを念頭に、さらに前回意見を頂いておりました年齢・男女構成、公募を考慮して、各地域５名という委員数をご提案させて頂いたところです。

なお、他の地域においては、委員数が少ないのではないかという不安の声もありましたので、新機関の委員には分科会の活用を相談させて頂くこととして、ご提案させて頂き、了承いただいたところもございました。

八代地域においても、他の地域と同様に、事案に応じた分科会の活用をご提案させて頂きたいと思いますが、いかがでしょうか。

<委員>

これまでの地域審議会は、対等合併に基づくものであるという趣旨から、旧市町村の枠組みが採用されていました。しかし、新たな機関については、従来の枠組みではなく、新しい委員の選出方法が必要ではないでしょうか。

<事務局>

昨年度末から委員の皆様からご意見を頂き、それを踏まえて、今回ご提案をさせて頂いたところでございますので、新たな機関のスタートとしては今回提案した形態でご理解を頂きたいと思えます。

<委員>

各地域審議会の審議の密度に差があるように感じています。他の地域では意見が無かったという事例もあり、事務局としても苦労されたのではないかと思います、実際に運営がしやすいように配慮いただけたらと考え、発言した次第です。

<事務局>

少し補足説明をさせていただきます。

前回会議でも説明させていただいておりますが、現在、附属機関等は審議会等が38機関、運営委員会等が24機関設置されているところであり、市全域に係る各計画や施策については既存の機関においてご議論を頂いているところです。

今回提案の新たな機関については、地域の諸問題について市全域的な視点からご意見を頂くということも1つの柱としておりますので、その趣旨についてもご理解頂きたいと思えます。

<委員>

委員数は各地域均等ということで進めるのでしょうか。

<事務局>

委員数については、人口に応じてというご意見もありましたが、各地域均等に、八代地域としては5人ということでご了承をお願いしたいと存じます。

<委員>

合併から10年を経過しましたので、旧市町村という枠組みはそろそろ外してもいいのではないかと思いますので、意見として申し上げておきます。

<事務局>

新たな機関を運営していく中で、地域バランスという部分で不具合があるようであれば、新たな委員とご相談させて頂き、対応したいと思います。

<委員>

よろしくお願いします。

<委員>

40歳代以下の若年層の委員はどのような方を想定されていますか。

<事務局>

子育て世代の方には、是非参画頂きたいと考えています。

なお、会議の開催にあたっては、仕事をされている若年層の方が参加しやすいよう、休日や夜間の開催も検討しているところです。

<委員>

その他附属機関について説明がありましたが、委員の方は八代地域の方が多いのでしょうか。

<委員>

計画等によって各地域から入っている場合もありますし、そうでない場合もあります。

<委員>

もし、他の審議会等に八代地域からの選出が多くなりがちであれば、今回の機関については各地域同数でも仕方がないのかなとも思います。

新たな機関を運営していく中で、状況を見ながら検討していただければと思います。

<委員>

いろいろな会議に出っていますが、私が出ている会議においては、6地域という枠組みが多いように感じます。合併から10年を経過しましたので、人口割とまでは言いませんが、旧市町村という枠組みはそろそろ和らげてはどうかという気持ちはあります。

<委員>

委員数は30名を超えると多すぎます。ですから、今回の案で行くのであれば、本当に八代のことを考えて頂ける方を委員に選任頂きたいと思います。

<会長>

余談ではありますが、市政協力員会議については、いち早く融合したと思っております。

<委員>

賛否をとることはありますか。

<会長>

市政協力員会議において賛否をとることはありません。

<会長>

新たな機関の設置について、その他意見等はありませんでしょうか。

<委員一同>

(意見なし)

4. その他

<事務局>

～事務局より、次回会議について説明～

5. 閉会

<会長>

これまで私たちは行政と真摯に向き合ってきました。今回ただ委員会を作ればいいということではなく、今後、私たち市民の声が行政に届き、施策に反映させていくことができるかが問題であります。このことをお伝えし、八代地域審議会を終わらせて頂きます。お疲れ様でした。

<事務局>

本日の第32回八代地域審議会を終了いたします。

長時間にわたりご協力いただきありがとうございました。

14:30 終了